

公表

2026 事業所における自己評価結果

事業所名		さあかすチャレンジふたば		公表日		R8 年 4 月 30 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発用のスペースを確保している。 ・利用者が少ないので適切。 ・必要に応じて別室を利用できるように環境を整えている。 ・スペースを区切り、活動しやすい工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し広いスペースが必要。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・1支援員に対し最大でも利用者2名に抑えている。 ・午前中は利用者が少ないので適切。 ・午後は2部屋使用しているので適切。 ・常勤職員だけでなく非常勤職員を配置している。 ・基本1対1のマンツーマンにて療育は行っている。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化による汚れは否めないが、児発用のスペースを確保し、自発用の教材はそのスペースに配置するなど工夫されている。 ・バリアフリーではないが、暗い場所ではセンサーライトなど取り付けている。 ・プレイルームとトイレの床がボコボコになっているので転倒リスクがある。 ・廊下が暗く、児童が怖がっている。 ・生活空間に1人1人のロッカーを設けたりと、同じ空間で完結できるような工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮はしているが、壁や床の補修、他の部屋からの匂い対策が必要と考える。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・サービ終了後に教材は決まった場所に片付けられるなど、翌日に備えられている。 ・学習空間、活動空間が別れており、使いやすくなっている。 ・児童が帰った後、アルコール消毒をして清潔に保持している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を行って不用品を手放して物を置く定位置を決める。 ・使うものを使いやすいところに置く。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・利用できる別室は準備されている。 ・必要に応じて使用できる場所はある。 ・となりの部屋を使用できるように、不要なものを片づけて利用している。 ・別の部屋を使用することは可能。 ・なっているが、他部署との協力が必要。 		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を適宜行っている。 ・業務終了後、または、翌日にできている。 ・朝礼、夕礼以外にも話し合いが取れる時間があれば、職員で話し合っている。 ・朝礼にて、本日の療育、夕礼にて、本日の振り返りを行っている。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に必ず保護者と会い、懇談している。また、行事として、保護者会、参観日とその後の懇談もしている。 ・その都度申し送りがある。 ・送り時に児童の様子を伝え、共有を行っている。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼・夕礼等、意見交換の場は設定されている。 ・その都度、話しができています。 ・毎日、朝礼と夕礼を行っている。 ・朝礼、夕礼にて、意見の交換を行っている。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の社労士、行政の福祉担当者等への相談を緊密に行い業務改善に努めている。 ・監査等での指摘で、業務改善につなげている。 		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での研修を定期、及び、緊急には臨時にも行い、また、外部研修にも職員を派遣している。 ・その都度、開催されている。 ・事業所内で行っている。 ・月に1回以上の内部研修、オンライン研修を受講している。 		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト公表されている。 ・支援計画が更新されるたびに共有されている。 ・作成したものを職員にも周知している。 		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察や子どもとの懇談、及び、送迎時や懇談会で保護者の要求や意見を聞くなどして情報を収集し、支援計画を作成している。 ・更新のたびに作成できている。 ・普段からの保護者との意見交換、担会での課題等を分析し、支援計画を作成している。 		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・更新時にできている。 ・朝礼と夕礼以外でも時間が取れば話し合いを行っている。 ・職員全員が共通理解した上で同じ支援がされるように検討している。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・更新時に共有されている。 ・いつでも確認できるように置いていて、支援前に目を通している。 ・支援計画更新時には新しい計画を伝え、計画に沿った支援を行うようにしている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の様々な情報を集め、適切な評価を行っている。 ・できている。 ・子どもによっては発達検査の結果、保護者からの情報による行動分析にて確認している。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報から作られた適切な計画の達成のため、日々の職員間での議論の中で、その日の支援内容を検討している。 ・支援計画に基づいて行っている。 ・児童が目標達成できやすい具体的な支援内容を含めるようにしている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。 ・できている。 ・朝礼と夕礼にて話をしている。 ・5領域に沿った個々の療育、集団活動の立案を行っている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。 ・毎回、違うものになっている。 ・バランスよく行い固定化しないようにしている。 ・固定化しないように一人ひとりの学習ファイルを作成し準備している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での議論を日常的に行なっている。 ・できている。 ・偏りがないよう計画を作成し、支援を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・毎日、送迎や自分の担当など、決まっている。 ・毎朝、朝礼を行っている。 ・開始前の朝礼にて打合せを行い、チーム連携にて動ける体制をとっている。 	・職員間で必ず打ち合わせを行い、チームで連携して行えるようにしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼等、適宜、職員間の情報交換と議論を行っている。 ・毎日、振り返りがある。 ・夕礼にて振り返りを行っている。 ・支援終了後、必ず夕礼にてその日の振り返り、共有している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内ネットワーク上に日誌を置き、職員全員が記録、閲覧できるよう整えている。 ・日誌、夕礼があり、検証できている。 ・業務日誌に記載している。 ・朝礼と夕礼にて、話す時間を作っている。 ・業務日誌にて記録をとっている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の職員による子ども観察に加え、定期的に保護者にもモニタリングを行い、支援計画を見直している。 ・できている。 ・保護者との面談等にて、モニタリングを行い見直しを行っている。 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・要請により、適宜、現場指導員も会議に参加している。 ・相談員とできている。 ・学校関係者にも参加を促し、子どもの状況の共有を行っている。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関、福祉行政機関、教育委員会、学校や園など、関係機関との日常的関係作りに努めている。 ・相談員や学校と連携している。 ・こども園の先生と送迎時に話をしている。 ・かかりつけ医、こども園、関係機関と連携している。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、関係機関やその職員との関係作りに努めている。 ・送迎時に話をしている。 ・担当者会議にて、こども園、支援学校との共有、理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数回送迎したが、そこまで先生と話せていない。 ・支援内容等の情報共有を図っていきたい。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への情報提供など、要請があれば対応できる。 ・日々のやりとりでの情報共有できている。 	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターに助言を受けるべき事例が発生した場合には、遅滞なく助言を求める姿勢は常に持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、助言が必要時は、機会を設けていく必要あり。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は意図的に計画したものはなかったが、子ども対象の施設に外出した際など、他の事業所や園、あるいは個人的にきている子どもと共に過ごすことはあった。 ・児童館を活用して地域の子どもと交流する機会はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中ではない。 ・他の子どもと活動する機会を設けていきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時には必ずその日の状況を伝え、また、保護者からも家庭などでの状況を聞き、情報交換を行っている。 ・送迎時に話している。 ・送迎時には必ず保護者に状況を伝え、課題についての理解ができています。 		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は事業所外などの正式な研修の機会はなかったが、送迎時に時間をとり家族支援の内容も適宜行っている。 ・参観日がある。 ・誤射会を行っている。 ・実践できそうな案を伝えるなど、情報提供できている。 		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にさまざまな情報を提供し説明を行っている。 ・できている。 ・契約時には伝え、ほごしゃからの質問にも答えるように意識している。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの活動の中で、何ができるようになりたいかなど意見を聞いたり、送迎時に保護者の要求や意見を聞いたりしている。 ・誤射の意見も聞き計画している。 ・しっかりアセスメント、モニタリングを行ってから作成するようにしている。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対するモニタリングは定期的に行っている。 ・支援計画はできている。 ・対面にて説明をし、保護者から同意を得ている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを定期的に行うとともに、保護者会や懇談会も定期的に行っている。 ・送迎、モニタリング、電話等にて、面談、助言ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にはできていないかも。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な保護者会、参観日などの行事を行い、参観日には家族の行事参加も依頼している。 ・保護者会を行っている。 ・保護者会を開催して、子育ての悩み交流する機会を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者には、事業所への相談や要求、意見の申出をいつでも受けているということを適宜周知している。 ・その都度できている。 ・時間を要することなく迅速に対応できている。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの通信、LINEアプリなどで発信できている。 ・SNSは活用していない。 ・年に3回ほど、ふたばだよりを発行している。 ・日々の子どもの活動状況、行事予定をお便りにて発信できている。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修、及び、緊急時の臨時研修など、職員間の意識改善に努めている。 ・できている。 ・職員研修にて理解できている。 	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・音声、文字、図など、適宜、手段を選んで意思疎通を図っている。 ・連絡帳やLINEでできている。 ・連絡帳や送迎時を通じて保護者とコミュニケーションをとるように心がけている。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は地域住民を招待することはできなかったが、参観日等に、同事業所グループ内にある他の部署の職員さん（地域住民）に参加してもらっている。 ・地域の住民と関わりがない。 	・事業所の行事に参加してもらえるよう体制を作っていく必要あり。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを策定し、研修や訓練も定期的実施している。 ・避難訓練をしている。 ・研修をしたり実践を行ったりしている。 ・机上だけでなく、訓練も定期的に行っている。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを策定し、研修や訓練も定期的実施している。 ・避難訓練はできている。 ・訓練は行っているが、児発の子どもたちと訓練をまだしていないので、今後は行うことにしている。 ・机上だけでなく、訓練も定期的に行っている。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約を結ぶおり、必要な情報を確認し、記録として事業所内に保管、職員に周知徹底している。 ・契約時に確認している。 ・デイで服薬した場合は服薬帳に記入するようにしている。 ・契約時でのききとり、日々のやり取りにて確認している。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供はしていない。昼をまたいで利用している子どもは弁当を持ってきている。 ・契約時に確認している。 	・食事提供していないため、対応していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 ・年間研修計画に取り入れ、行っている。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網を作成し、緊急時の避難先を保護者にも周知している。 ・避難経路、緊急連絡先などの確認にて、家族に周知している。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・その都度できている。 ・必ず職員で話し合いを行っている。 ・些細なことでも再発防止につなげる案を話し合っている。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・以前に研修を受けたことがある。 ・研修を行っている。 ・定期的に行っている。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には利用契約を結ぶ際に拘束の説明・同意を得ている。また、職員には、定期的研修、及び、事例発生時の緊急検討会を遅滞なく行っている。 ・契約時にできている。 ・契約時に説明を行い、同意書にサインをもらっている。 ・身体拘束の必要性など話し合い行っている。 		